



自治体への「ホットライン（要配慮者施設への情報伝達）」の様子

平成29年洪水対応演習において 要配慮者施設への情報伝達訓練等を行いました！

洪水対応演習とは

- 毎年、出水時に備え、阿武隈川流域の沿江市町村、県、防災エキスパート、国などが参加し、洪水が発生した際の情報伝達訓練を行っています。

【参考】H29年訓練の概要

- 実施日時：平成29年5月12日(金)
- 実施場所：福島河川国道事務所(3階 防災センター)
- 参加機関：東北地方整備局、福島河川国道事務所、気象台、福島県、管内市町村、その他関係機関
(合計 約150名)

【重要な改正事項】

避難準備情報の名称が変更されました！

(変更前)	(変更後)
避難指示	避難指示(緊急)
避難勧告	避難勧告
避難準備情報	避難準備・高齢者等避難開始

◆「避難準備・高齢者等避難開始」情報



「次に該当する方は避難を開始してください」

お年寄りの方、体の不自由な方、小さな子供がいいらっしゃる方など、**避難に時間のかかる方と、その避難を支援する方**

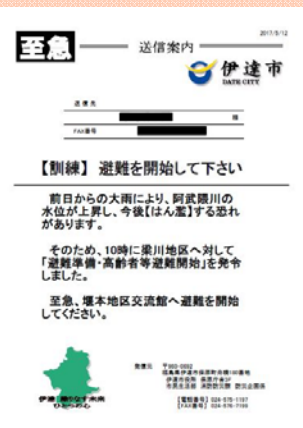
内閣府防災HP情報より抜粋 [http://www.bousai.go.jp/oukyu/hinankankoku/hinanjumbijoho/]

- ポイント：今回の訓練で、自治体と連携し、実際に施設への情報伝達を行いました



◆伊達市の訓練の風景 (ホットラインのようす)

- ・避難するタイミングがわかりやすい。
- ・阿武隈川が氾濫すると、幼稚園まで水が越水してくることを再確認する良い機会となった。



◆施設へ送付した様式

◆施設の方々の声

毎年出水期前に、福島河川国道事務所・地方気象台・福島県等で洪水対応演習を実施しています。
今年も自治体の協力のもと、実際に要配慮者利用施設の幼稚園へ情報伝達訓練を行いました。